

2020年度プロジェクトレポート

長野・宮城

C.W.ニコル・アフンの森と東松島の森づくり

一般財団法人 C.W.ニコル・アフンの森財団



支援金額
3,030,990円
森林の整備
100,000㎡



写真左より、福地 健太郎さん、石井 敦司さん、森田 いつみさん、大澤 渉さん

未来のために森を守る。その想いは受け継がれています。

昨年度は、この活動のけん引役であるC.W.ニコルさんがご逝去され、長野県と宮城県各地で追悼展を実施しました。これまでの功績を振り返るとともに、団体による森の整備などの活動写真を展示。総勢4,828名の方にご来場いただきました。追悼展をきっかけにアフンの森が見たいとの問い合わせが増加しています。また、長野県アフンの森では予定していた間伐などを無事に完了しました。今回の作業エリアでは55年生の杉が生育中。定期的な間伐を続けることで、100年生の杉を育成する計画です。アフンの森には長年フクロウが棲みついています。昨年は3羽のヒナが無事に育ちました。宮城県東松島の森の1羽と合わせると、合計4羽のヒナが巣立ち、森の環境が保たれていることが実感できました。

支援金額
2,724,122円
森の観察会参加者
74名



宮城

海を守るために木を植える 森は海の恋人
特定非営利活動法人 森は海の恋人
気仙沼湾のカキ漁師たちが主体となって植林活動を実施。森の観察会では、環境保護の知識を深めていただきました。



写真左より、島山 信さん、島山 重篤さん、白幡 美晴さん

宮城

海岸林再生10年計画 公益財団法人 オイスカ

東日本大震災の津波で失われた海岸林を、植林により取り戻すプロジェクト。クロマツの植林は累計37万本となり、元気に育っています。



写真左より、吉田 俊通さん、鈴木 和代さん

支援金額
4,000,000円
クロマツの植林
19,350本

国内で!

感染防止に注意を払い知恵をしぼり、工夫を重ねて、活動を継続。エコへの想いは力強く根付いています。



滋賀

学ぶ、守る、つなぐ、琵琶湖の水

認定特定非営利活動法人 びわ湖トラスト



支援金額
2,000,000円
環境学習プログラム参加
120名



後列左より、島原 雅之さん、熊谷 通夫さん、横山 尚哉さん、漢口 俊哉さん、前列7名は、JSTジュニアドクター育成塾小中学生

小学生から高校生の若者が、琵琶湖の循環について熱心に学習。

琵琶湖の保全と次世代啓発をめざす新しいプロジェクトが2020年にスタート。地球温暖化により水面温度が上昇すると、「琵琶湖の深呼吸」が止まり、生態系の維持が難しくなってしまいます。そこで、湖水の上下循環の低下を緩和する手法を考えるため、循環を促進するチューブの試作実験プロジェクトを立ち上げました。また、太陽エネルギーについての理解を深めるため、ソーラーボートの競技会へ出場。1位から3位までを独占する好成績を残しました。高い問題意識をもちながらも、楽しく取り組めたことその成果といえるでしょう。 ※酸素を多く含む湖底近くの水と湖底の水が入れ替わる自然現象。

支援金額
1,400,000円
出前授業の開催
6回

宮城

鳴子温泉の地熱と暮らす
特定非営利活動法人
スパッと鳴子温泉自然エネルギー
地元の学生を対象とした地熱発電の出前授業を通じて、地元の自然エネルギーの活用を根付かせます。



写真左より、佐々木 敬司さん、鈴木 健さん

神奈川

竹林を間伐して鎌倉の森を取り戻そう

一般社団法人 地球の学校
増えすぎてしまった竹林を間伐し、鎌倉の健康な森を育むプロジェクト。ワークショップで間伐材は竹細工に、チップ材は農家の堆肥へと活用しました。



写真左より、岩本 京子さん、齊藤 玲子さん、樋口 純子さん、長谷川 孝一さん

支援金額
1,275,000円
森のリテラシー教育・普及活動参加者
427名

和歌山

生物多様性を体感できる森づくり

特定非営利活動法人
自然回復を試みる会・ピオトブ孟子
孟子不動谷に生息する希少生物を守り、生物多様性豊かな里山へ。活動拠点の建設準備も行いました。



坂本 雅城さん

支援金額
970,000円
大旗山冬季鳥類調査
28種

支援金額
2,999,620円
整備面積
10,000㎡

兵庫

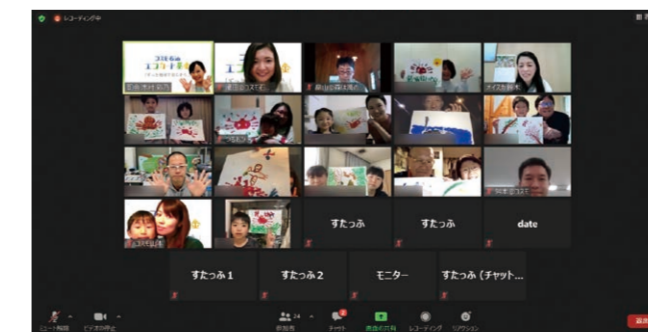
人と動物が共生する「安賀彩りの森」

特定非営利活動法人 奥播磨夢倶楽部
もと身近な里山をめざして遊歩道を中心に整備。また、育てているブルーベリーでジャムをつくり、有志の果樹園オーナーへの配布もしました。



春名 千代さん(後列右)と奥播磨夢倶楽部の皆さま

EVENT REPORT



オイスカのレクチャーで、宮城県名取市の海岸林に棲む動物たちの絵を手形で作るワークショップを実施。事前にお送りした絵具キットを使っていただき、カニやトンボなど個性豊かな生き物が完成しました。ほかにも活動にまつわるクイズ大会など、楽しんでいたかったです。

3/13

会員さま感謝イベントを初の試みであるオンラインで開催!!

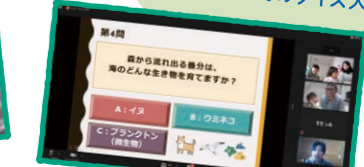
午前の部、午後の部と合わせて、19組37名の方にご参加いただきました。東日本大震災の津波で失われた海岸林を取り戻すためのプロジェクトを行う公益財団法人オイスカと、宮城県気仙沼湾のカキ漁師たちが主体となって植林活動を行う特定非営利活動法人森は海の恋人。今回は宮城県で活動する2団体にご協力いただきました。参加者の方からは「初めてリモートでのワークショップに参加しましたが、想像以上に楽しかった!」「説明にあった松を、実際に見に行ってみてみたいです!」といった感想が寄せられました。

親子の皆さまを中心に、たくさんの方に
ご参加いただきました!

海岸林に棲む動物たちの絵を、手形で作るワークショップ!



活動についてのクイズ大会も!



東京

八王子の里山を明るく変えていこう

特定非営利活動法人
森のライフスタイル研究所
特別緑地保全地区に指定された東京都八王子市。ボランティアの皆さまとともに、放置された暗い森を、人の往来で賑わう里山に変える活動をしています。



写真左より、吉田 俊通さん、鈴木 和代さん

支援金額
1,936,110円
整備面積
26,000㎡

静岡

世界遺産 富士山の森を守り再生させよう

認定特定非営利活動法人 富士山クラブ
生物多様性豊かな富士山の森を守るためのプロジェクト。防護ネットの修繕、遊歩道整備、間伐作業などを計画通りに実施しました。



後列左より、豊岡 均さん、鈴木 義和さん、井戸 直樹さん、大井 英明さん
前列左より、知念 絵里さん、深澤 寛貴さん

支援金額
2,017,892円
森林の整備
17,000㎡

徳島

地域住民で守る神山の里山保全

認定特定非営利活動法人 グリーンバレー



写真左より、大門 康介さん、齊藤 郁子さん、長谷川 浩代さん、柳谷院 弘智さん、折原 拓人さん、鹿野 綾太郎さん

支援金額
2,749,002円
スギヒノキの間伐
58本

馬とともに、里山の整備に取り組みはじめました。

機械での作業がしにくい山奥の間伐作業を効率的に行うため、馬の力を借りて木材などを運ぶ古来の技術、「馬搬」の活用を開始。継続的な間伐作業が少しずつ実を結び、里山の水の流れが変わり、川に魚や野鴨が戻ってきています。2019年に間伐材で建設した「森のサウナ」では間伐材を薪として活用していますが、灰を土に撒き続けたことで、眠っていた種が芽吹き、花が咲き始めました。今ではそこに日本ミツバチが来るようになり、草花の受粉に協力をしてくれています。これまで40年間放置された里山。2017年のエコカード基金による支援開始からたった4年間で豊かな自然体系を取り戻しはじめ、人が集まる里山へと生まれ変わろうとしています。こうした活動は「持続可能な森づくりモデル」として話題になり、国内外の地方自治体などから注目を集め、オンラインでの視察も受け入れています。